

東日本大震災津波救援・復興県民会議だより

連絡先
いわて労連内
No.3
2011.7.25

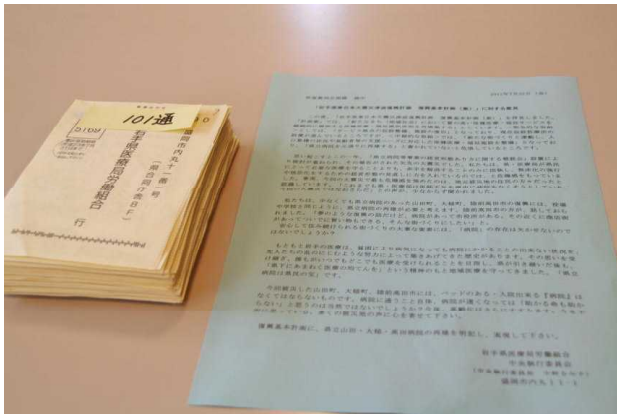
県「復興局」へ被災地の県病再建を パブ・コメ102通分を提出



パブ・コメを県に提出する鈴木議長、中野委員長

7月22日、いわて労連、自治労連、医労連、県医労で構成する「地域医療の充実・県民の命を守る連絡会（通称 労組連絡会）」は、県庁12階にある県復興局を訪れ、パブリックコメントでこれまでに寄せられた101通と県医労の意見書を合わせた102通分（7月21日到着分）を提出しました。この提出には、いわて労連鈴木議長、同 中村事務局次長、岩手医労連中野委員長、県医労伊藤書記長など4名が参加しました。対応した県復興局企画課の上野主事が数を確認して受け取りました。

パブコメのために労組連絡会は、返信ハガキ付



寄せられたハガキ・県医労からの意見

きのチラシ（1万枚）をつくり、被災地の仮設診療所などを訪問し、被災者に配布をしてきました。引き続き、県復興基本計画に対する県民の声をたくさん寄せましょう。

「大工道具がほしい」との依頼で、 岩手県建設労組連合会が贈呈



全建総連から届いた支援工具等を頂く

陸前高田市内の被災者から『大工道具がほしい』との要望を受け、いわて労連は全建総連加盟の岩手県建設労組連合会に依頼をしていました。7月22日午後2時過ぎから、盛岡市本宮にある岩手県建設労組連合会の会館前で、電動ノコなど県建設労組佐藤書記長から贈呈を受けました。

この日、同じ全建総連加盟の秋田県建設労組が盛岡まで、福岡建設労組から届いた道具類を積んで運んできました。

早速、いわて労連は陸前高田の共同支援センターに届けて頂くよう依頼をしました。

「地域の会」づくりを要請する“連絡文書2号” を発行

久慈労連外里事務局長から「救援・復興県民会議」の地域の会づくりの質問をいただき、連絡文書2号を発行しました。（事務局より）